

授業科目名	情報機器の操作(2000071)		
時間割名	情報機器の操作(21102)		
時間割担当	杵崎のり子		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	火・1		

授業の目標・概要

現代の情報化社会において、インターネットをはじめ、情報通信技術が社会のあらゆる分野に浸透している。その中で、情報機器を活用し、あふれる情報から必要とする内容を探索、理解、判断、発信する能力が必要である。本授業では、パソコンの基本的操作をはじめ、インターネットによる情報検索、電子メールの利用、ワープロソフトを利用した報告書の作成、表計算ソフトを利用した表やグラフの作成、プレゼンテーションソフトを利用した研究発表などについて実際に情報機器を使って演習問題を通して学習する。

学習の到達目標

- ・ コンピュータの動作原理を説明できる。
- ・ ネットワークの仕組みを説明できる。
- ・ 情報システムの開発手順を説明できる。

授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

授業計画

- 第1回 人間情報処理とコンピュータ
 ・ コンピュータの歴史、情報のとらえ方を理解する。
- 第2回 人間情報処理とコンピュータ
 ・ 論理回路の考え方、デジタル処理の基本となる2進数、文字データの表現方法などを具体的に理解する。
- 第3回 ハードウェア
 ・ 中央処理装置について理解する。 ・ 記憶装置について理解する。
- 第4回 ハードウェア
 ・ 入力・出力装置について理解する。 ・ 周辺機器、コンピュータの種類を理解する。
- 第5回 ソフトウェア
 ・ オペレーティングシステム(OS)の働きを理解する。
- 第6回 ソフトウェア
 ・ プログラムの作成手順を理解する。 ・ プログラムの図式表現を理解する。
- 第7回 ネットワーク
 ・ ネットワークの基本概念を理解する。 ・ ローカルエリアネットワーク(LAN)の概念を理解する。
- 第8回 ネットワーク
 ・ インターネットの仕組みを理解する。
- 第9回 情報システム
 ・ ネットワーク利用に必要なセキュリティを理解する。
- 第10回 情報システム
 ・ 世の中で利用されている情報システムの例を理解する。
- 第11回 マルチメディア技術
 ・ 静止画像に関連する技術や仕組みを理解する。
- 第12回 マルチメディア技術
 ・ 動画像に関連する技術や仕組みを理解する。
- 第13回 モバイル技術
 ・ モバイル機器(携帯電話など)の種類と機能を理解する。
- 第14回 ネット社会における情報倫理
 ・ 情報倫理(情報モラル)に関して、著作権、プラバシー保護について理解する。
- 第15回 これまでの学びを振り返りまとめる。

成績評価の基準

授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、習得した実技能力をチェックしていく(30%)。さらに、学習記録ノート(学生作成)の緻密さなどを評価する(30%)。さらに学期末に実技試験を行う(40%)。

授業時間外の課題

1. 各講義における課題をシラバスを通して理解しておく。
2. 各講義後に学んだ言葉に関する理解をまとめておく。
3. 現代教育課題に関心を持っておくこと。

メッセージ

授業中に伝える。

教材・教科書

授業中に指示する。

参考書

授業中に指示する。